

## 運用報告書 (全体版)

第11期<決算日2019年6月10日>

### 米国優良株ファンド (リスクコントロール戦略/為替ヘッジあり)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2013年12月16日から2023年12月11日まで。	
運用方針	投資信託財産の成長を目指して運用を行います。実質外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	
主要運用対象	当ファンド	米国優良株マザーファンド受益証券。
	米国優良株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式 (上場予定を含みます。)
組入制限	当ファンドの米国優良株マザーファンド組入上限比率	制限を設けません。
	米国優良株マザーファンドの株式組入上限比率	制限を設けません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準や市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

愛称：USアイ (為替ヘッジあり)

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「米国優良株ファンド (リスクコントロール戦略/為替ヘッジあり)」は、2019年6月10日に第11期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			BofAメリルリンチ 米国優良高配当株指数		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券組入比	純資産 総額
	(分配落)	税金 分配	み 騰落	中 騰落	中 騰落				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
7期(2017年6月12日)	10,754	20	5.1	199.07	7.5	95.2	—	—	140
8期(2017年12月11日)	11,574	80	8.4	219.21	10.1	98.1	—	—	59
9期(2018年6月11日)	11,595	15	0.3	227.19	3.6	89.7	—	△0.8	56
10期(2018年12月10日)	11,193	70	△2.9	225.11	△0.9	84.1	—	△4.3	45
11期(2019年6月10日)	11,505	65	3.4	248.66	10.5	81.5	—	△0.5	42

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

※株式組入比率、株式先物比率および投資信託証券組入比率は実質比率を記載しております。

※投資信託証券組入比率の欄のマイナス表記は、米国S & P500株価指数と逆の値動きをする上場投資信託証券の組入比率です。

※BofAメリルリンチ米国優良高配当株指数は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準（目標基準）となる指標をいい、約款または投資信託説明書（目論見書）において、その旨の記載があるものを指します。

BofAメリルリンチ米国優良高配当株指数（米国優良株指数）とは

- ・ BofAメリルリンチ米国優良高配当株指数（米国優良株指数）は、収益体質に優れ、配当利回りが高い銘柄から構成され、長期にわたり安定した収益を目指す指数です。
  - ・ 当指数の構成銘柄は、S & P500種株価指数の構成銘柄の中から、各企業の利益のクオリティ（成長性、安定性）が高く、高配当であり、バンクオブアメリカ・メリルリンチのアナリスト評価が一定水準を満たしている銘柄を選定します。
  - ・ 構成銘柄の見直しは毎月1回行われ、その際、各構成銘柄が等金額ウェイトとなるように配分されます。
  - ・ バンクオブアメリカ・メリルリンチ（以下「BofAML」）は本ファンドの運用者もしくはスポンサーではなくまた本ファンドを保証するものではありません。BofAMLは本ファンドの持分保有者その他一般のメンバーに対して、本ファンド持分への投資の妥当性について明示または黙示を問わず表明保証いたしません。BofAMLと本ファンド運用者もしくはスポンサーまたは本ファンドとの関係は、本ファンドの持分の分売ならびに米国優良株指数並びに関連データ（本項にて両者含めまして「本指数」といいます。）についての、本ファンドに対する利用許諾に限定されています。本指数はBofA Merrill Lynch Global Researchが公表するものであり、本ファンドまたは持分保有者を考慮することなく、BofAMLがその決定や構成を行います。BofAMLは本指数の決定や構成に際して本ファンドおよびその持分保有者のニーズを考慮する義務を負いません。BofAMLは本ファンド持分の発行や償還に関する決定や計算に関与することなく、また責任を負いません。BofAMLは本ファンドの管理もしくは運用に関してなんら義務を負わず責任を負いません。
- 本ファンドの運用者もしくはスポンサー、本ファンドまたはその他の者による、本ファンドや本指数の利用に関連した投資決定について、BofAMLは一切責任を負いません。本指数の利用から生じる結果（損失の場合を含みます）は本ファンドの運用者もしくはスポンサー、本ファンド、その持分保有者その他の者が負うものであり、BofAMLはかかる結果について明示または黙示を問わず保証いたしません。BofAMLは、本指数、本ファンドまたは持分に関して、商品性および特定目的または利用にかかる適合性について明示または黙示を問わずなんら保証せず、また明示的に免責させていただきます。以上の項目を限ることなく、BofAMLは、本指数、本ファンドまたは持分の利用から生じる、特別な、懲罰的な、間接的な、または結果的な損害（逸失利益を含む）について、仮に当該損害の可能性を通知されていたとしても、一切責任を負わないものとします。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		B o f A m e r i c a n 株 指 数		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2018年12月10日	円 11,193	% —	225.11	% —	% 84.1	% —	% △ 4.3
12月末	10,698	△4.4	213.12	△ 5.3	86.2	—	△ 4.8
2019年1月末	11,266	0.7	233.77	3.8	73.1	—	△11.5
2月末	11,665	4.2	244.70	8.7	92.9	—	△ 1.9
3月末	11,688	4.4	245.77	9.2	89.4	—	—
4月末	12,048	7.6	254.96	13.3	96.5	—	—
5月末	11,295	0.9	240.71	6.9	92.6	—	—
(期 末) 2019年6月10日	11,570	3.4	248.66	10.5	81.5	—	△ 0.5

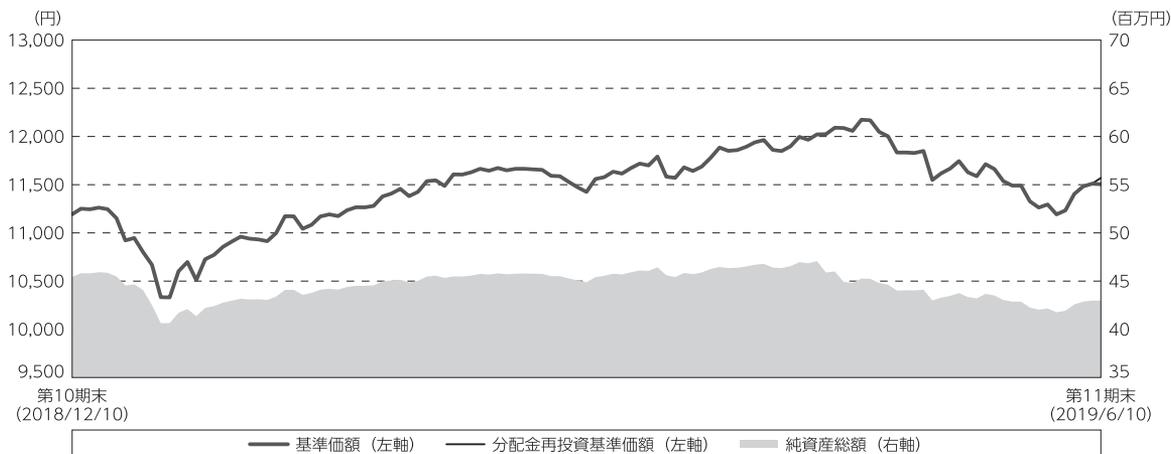
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

※株式組入比率、株式先物比率および投資信託証券組入比率は実質比率を記載しております。

※投資信託証券組入比率の欄のマイナス表記は、米国S & P500株価指数と逆の値動きをする上場投資信託証券の組入比率です。

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移（2018年12月11日～2019年6月10日）



期 首：11,193円  
 期 末：11,505円（既払分配金：65円）  
 騰落率： 3.4%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

当ファンドは米国優良株マザーファンド（以下、マザーファンド）を通じて、米国の優良株へ実質的に投資するとともに、株価指数先物取引を活用することで、価格変動リスクの低減を図ります。外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

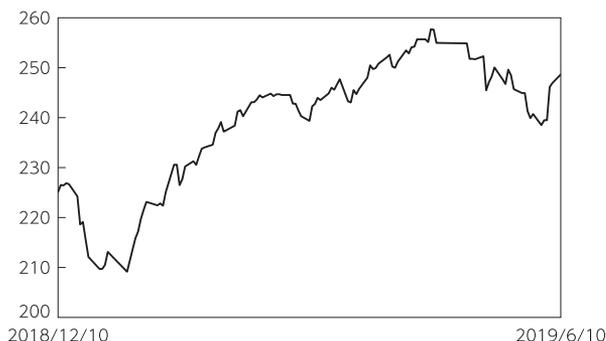
当期の基準価額は、期首11,193円から期末11,570円（分配金込み）となり、377円（3.4%）上昇しました。マザーファンドを通じて実質的に投資している情報技術株や一般消費財株の株価が上昇し、基準価額を押し上げました。

## 投資環境（2018年12月11日～2019年6月10日）

### 米国株式市場

期初から2018年の年末にかけて弱含みましたが、年明け以降は、パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長が、金融引き締めを急がない姿勢を示したことなどから2019年4月下旬にかけて堅調に推移しました。その後、米中貿易摩擦への懸念などから調整に転じましたが、期末にかけては、パウエルFRB議長が講演で利下げの可能性を排除しなかったことなどから、やや値を戻して期末を迎えました。

BofAメリルリンチ米国優良高配当株指数の推移



## ポートフォリオについて（2018年12月11日～2019年6月10日）

### ●当ファンド

- ・マザーファンドへの投資を通じて、米国の優良株へ実質的に投資しました。
- ・マザーファンドの組み入れは期を通じて高位を維持しました。
- ・当期は、前期より引き続いて2019年3月初めまでリスクコントロール戦略を実施したほか、株式市場の価格変動が所定のレベルに達したことから、3月下旬から4月上旬と6月初めよりリスクコントロール戦略を実施し、期末現在も継続しています。
- ・為替ヘッジにつきましては、期を通じて高位を維持しました。

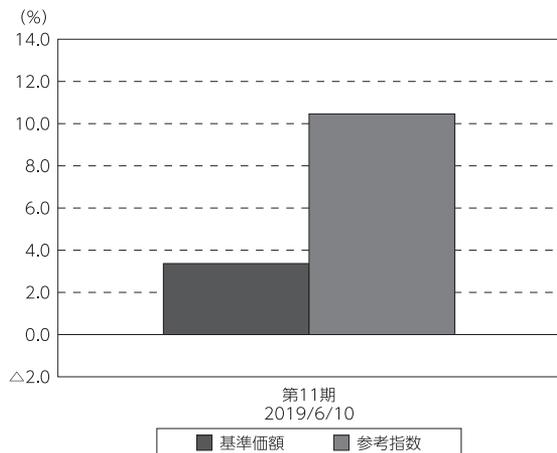
### ●マザーファンド

期初にはキャッシュ・フローの状況や配当利回りの水準等をもとに、米国優良株指数に採用された13銘柄による運用を行いました。その後も設定・解約による資金の流出入に応じ株式の売買を行ったほか、月次の参考指数の見直しに伴い、銘柄入替や組入比率の調整を実施し、期末時点では12銘柄を保有しております。

## ■ ベンチマークとの差異について（2018年12月11日～2019年6月10日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。グラフは基準価額と参考指数との騰落率の対比です。

【基準価額と参考指数の対比（騰落率）】



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## ■ 分配金（2018年12月11日～2019年6月10日）

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■ 分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第11期
	2018年12月11日～ 2019年6月10日
当期分配金	65
(対基準価額比率)	0.562%
当期の収益	65
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,782

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金」（税込み）の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金」（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続きマザーファンドの高位組み入れ、および米国ドルに対する為替ヘッジを継続します。

またマザーファンドのポートフォリオの価格変動の状況等によっては、リスクコントロール戦略を採用し、株価指数先物を売り建てするなどして実質株式組入比率を調整する予定です。

### ●マザーファンド

マザーファンドにおいてはキャッシュ・フローの状況や配当利回り、収益の成長性等を勘案して選定した銘柄への投資を継続します。また月次で行われる米国優良株指数の構成銘柄見直しに対応し、銘柄入替や組入比率の調整を実施する予定です。

## ○ 1万口当たりの費用明細

（2018年12月11日～2019年6月10日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	92	0.808	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 46)	(0.404)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 43)	(0.377)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 3)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	8	0.072	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
（ 株 式 ）	( 7)	(0.065)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 1)	(0.008)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 0)	(0.002)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	26	0.225	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 26)	(0.224)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合 計	126	1.107	
期中の平均基準価額は、11,443円です。			

※期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

※金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

※比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2018年12月11日～2019年6月10日）

投資信託証券

銘	柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	PROSHARES SHORT S&P500 ETF	1,581	46	2,096	59

※金額は受渡代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	米国優良株マザーファンド	千口	千円	千口	千円
		7,008	11,000	7,518	11,300

○株式売買比率

（2018年12月11日～2019年6月10日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	米国優良株マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	311,290千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	102,867千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.02	

※(b)は各月末の組入株式時価総額の平均で、月末に残高のない場合は、それぞれを除いて計算しております。

○利害関係人との取引状況等

（2018年12月11日～2019年6月10日）

利害関係人との取引状況

<米国優良株ファンド（リスクコントロール戦略／為替ヘッジあり）>

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
		百万円	B/A		百万円	D/C
為替先物取引	百万円 267	百万円 2	% 0.7	百万円 261	百万円 -	% -

<米国優良株マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、みずほ銀行です。

○組入資産の明細

(2019年6月10日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)	当 期 末			
		口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) PROSHARES SHORT S&P500 ETF	口 581	口 66	千米ドル 1	千円 195	% 0.5
合 計	口 数 ・ 金 額 581	口 数 66	1	195	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	-	<0.5%>

※邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

※比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の割合。

※評価額は、単位未満を切り捨ててあります。比率は、小数第2位を四捨五入しています。なお、合計は、切り捨て・四捨五入の関係で合わない場合があります。

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
米国優良株マザーファンド	千口 26,182	千口 25,671	千円 40,453

親投資信託の決算日における組入資産の明細につきまして、後述の親投資信託の「運用報告書」に記載しております。

○投資信託財産の構成

(2019年6月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 195	% 0.4
米国優良株マザーファンド	40,453	92.4
コール・ローン等、その他	3,124	7.2
投資信託財産総額	43,772	100.0

※外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年6月10日における邦貨換算レートは、1米ドル=108.52円です。

※米国優良株マザーファンドの外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、88.9% (89,874千円) です。

※外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、0.6% (268千円) です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年6月10日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	78,444,613
コール・ローン等	2,839,381
投資信託受益証券(評価額)	195,674
米国優良株マザーファンド(評価額)	40,453,718
未収入金	34,955,840
(B) 負債	35,473,571
未払金	34,870,651
未払収益分配金	242,770
未払信託報酬	359,387
未払利息	3
その他未払費用	760
(C) 純資産総額(A－B)	42,971,042
元本	37,349,328
次期繰越損益金	5,621,714
(D) 受益権総口数	37,349,328口
1万口当たり基準価額(C／D)	11,505円

○損益の状況（2018年12月11日～2019年6月10日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,572
受取配当金	5,521
支払利息	△ 949
(B) 有価証券売買損益	1,751,528
売買益	4,147,723
売買損	△2,396,195
(C) 信託報酬等	△ 370,798
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,385,302
(E) 前期繰越損益金	3,256,483
(F) 追加信託差損益金	1,222,699
(配当等相当額)	( 2,016,697)
(売買損益相当額)	(△ 793,998)
(G) 計(D+E+F)	5,864,484
(H) 収益分配金	△ 242,770
次期繰越損益金(G+H)	5,621,714
追加信託差損益金	1,222,699
(配当等相当額)	( 2,018,326)
(売買損益相当額)	(△ 795,627)
分配準備積立金	4,640,185
繰越損益金	△ 241,170

- ・信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。
- ・追加信託差損益金とは、追加設定をした金額のうち元本を上下する額を処理する項目で配当等相当額と売買損益相当額にわかれます。

注記事項

- ・信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	40,582,287円
期中追加設定元本額	975,561円
期中一部解約元本額	4,208,520円

- ・分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(338,966円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に定める収益調整金(2,018,326円)及び分配準備積立金(4,543,989円)より分配対象収益は6,901,281円(1万口当たり1,847.75円)であり、うち242,770円(1万口当たり65円)を分配しております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	65円
----------------	-----

1. 分配金のお支払いは、決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
2. 自動継続投資契約を結んだ方のお手取り分配金は、決算日の基準価額(分配落ち)にもとづき、それぞれの口座に再投資いたしました。
3. 分配金は普通分配金に課税されます。
4. 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

※分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金(特別分配金)にわかれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する額が元本払戻金(特別分配金)、残りの部分が普通分配金となります。

---

---

# 米国優良株マザーファンド

---

---

## 第5期 運用報告書

(決算日 2018年12月10日)

「米国優良株マザーファンド」は、去る2018年12月10日に第5期の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をお知らせいたします。

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形態	親投資信託
信託期間	原則、無期限です。
運用方針	円換算したBofAメリルリンチ米国優良高配当株指数の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。
主要運用対象	米国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	運用による収益は、信託終了時まで投資信託財産中に留保し、期中には分配を行いません。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		BofAメリルリンチ米国優良高配当株指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	期騰落	中率	(円換算)	期騰落中率			
(設定日)	円	%		%	%	%	百万円
2013年12月16日	10,000	—	16,103.5832	—	—	—	129
1期(2014年12月10日)	13,051	30.5	21,402.4536	32.9	99.4	—	423
2期(2015年12月10日)	11,639	△10.8	19,000.1700	△11.2	98.7	—	338
3期(2016年12月12日)	13,013	11.8	21,373.4970	12.5	97.5	—	384
4期(2017年12月11日)	15,018	15.4	24,913.2165	16.6	98.6	—	164
5期(2018年12月10日)	15,079	0.4	25,329.3772	1.7	96.8	—	107

※△(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

※BofAメリルリンチ米国優良高配当株指数(円換算)は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

※同指標は、BofAメリルリンチ米国優良高配当株指数をアセットマネジメントOneが円換算したものです。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準(目標基準)となる指標をいい、約款または投資信託説明書(目論見書)において、その旨の記載があるものを指します。

## BofAメリルリンチ米国優良高配当株指数(米国優良株指数)とは

- ・BofAメリルリンチ米国優良高配当株指数(米国優良株指数)は、収益体質に優れ、配当利回りが高い銘柄から構成され、長期にわたり安定した収益を目指す指数です。
  - ・当指数の構成銘柄は、S & P 500種株価指数の構成銘柄の中から、各企業の利益のクオリティ(成長性、安定性)が高く、高配当であり、バンクオブアメリカ・メリルリンチのアナリスト評価が一定水準を満たしている銘柄を選定します。
  - ・構成銘柄の見直しは毎月1回行われ、その際、各構成銘柄が等金額ウエイトとなるように配分されます。
  - ・バンクオブアメリカ・メリルリンチ(以下「BofAML」)は本ファンドの運用者もしくはスポンサーではなくまた本ファンドを保証するものではありません。BofAMLは本ファンドの持分保有者その他一般のメンバーに対して、本ファンド持分への投資の妥当性について明示または黙示を問わず表明保証いたしません。BofAMLと本ファンド運用者もしくはスポンサーまたは本ファンドとの関係は、本ファンドの持分の分売ならびに米国優良株指数並びに関連データ(本項にて両者含めまして「本指数」といいます。)についての、本ファンドに対する利用許諾に限定されています。本指数はBofA Merrill Lynch Global Researchが公表するものであり、本ファンドまたは持分保有者を考慮することなく、BofAMLがその決定や構成を行います。BofAMLは本指数の決定や構成に際して本ファンドおよびその持分保有者のニーズを考慮する義務を負いません。BofAMLは本ファンド持分の発行や償還に関する決定や計算に関与することなく、また責任を負いません。BofAMLは本ファンドの管理もしくは運用に関してなんら義務を負わず責任を負いません。
- 本ファンドの運用者もしくはスポンサー、本ファンドまたはその他の者による、本ファンドや本指数の利用に関連した投資決定について、BofAMLは一切責任を負いません。本指数の利用から生じる結果(損失の場合を含みます)は本ファンドの運用者もしくはスポンサー、本ファンド、その持分保有者その他の者が負うものであり、BofAMLはかかる結果について明示または黙示を問わず保証いたしません。BofAMLは、本指数、本ファンドまたは持分に関して、商品性および特定目的または利用にかかる適合性について明示または黙示を問わずなんら保証せず、また明示的に免責させていただきます。以上の項目を限ることなく、BofAMLは、本指数、本ファンドまたは持分の利用から生じる、特別な、懲罰的な、間接的な、または結果的な損害(逸失利益を含む)について、仮に当該損害の可能性を通知されていたとしても、一切責任を負わないものとします。

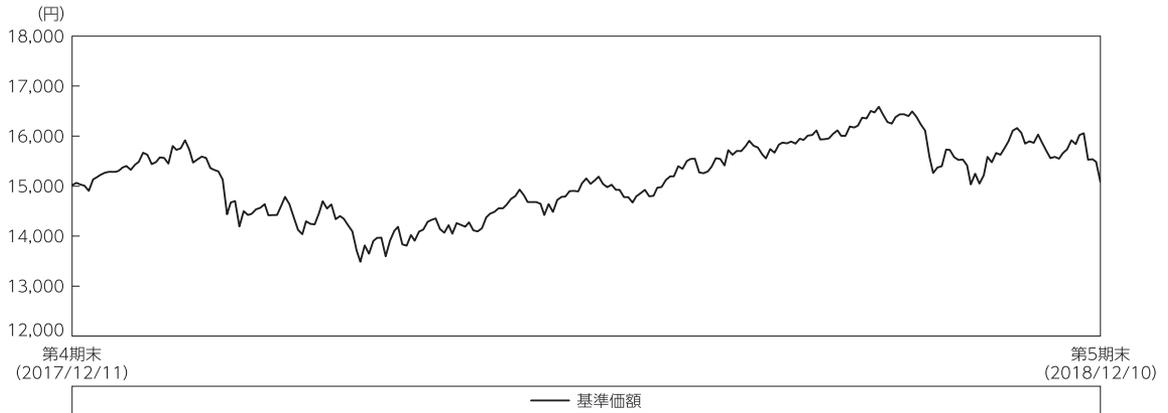
## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		B o f A メ リ ル リ ン チ 米 国 優 良 高 配 当 株 指 数 ( 円 換 算 )		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2017年12月11日	円 15,018	% —	24,913.2165	% —	% 98.6	% —
12月末	15,323	2.0	25,441.9500	2.1	99.4	—
2018年1月末	15,362	2.3	25,516.6945	2.4	98.7	—
2月末	14,637	△2.5	24,322.5261	△2.4	99.1	—
3月末	13,962	△7.0	23,200.6912	△6.9	98.6	—
4月末	14,222	△5.3	23,651.3115	△5.1	98.9	—
5月末	14,639	△2.5	24,452.0650	△1.9	90.8	—
6月末	14,797	△1.5	24,700.1630	△0.9	98.2	—
7月末	15,411	2.6	25,766.5311	3.4	97.8	—
8月末	15,930	6.1	26,683.2756	7.1	95.3	—
9月末	16,380	9.1	27,465.7688	10.2	96.4	—
10月末	15,583	3.8	26,108.6952	4.8	98.9	—
11月末	15,838	5.5	26,647.2948	7.0	95.1	—
(期 末) 2018年12月10日	15,079	0.4	25,329.3772	1.7	96.8	—

※騰落率は期首比。

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移（2017年12月12日～2018年12月10日）



### 基準価額の主な変動要因

米国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）を主要投資対象とし、円換算したBofAメリルリンチ米国優良高配当株指数（以下、「米国優良株指数」といいます。）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

当期の基準価額は、期首15,018円から期末15,079円となり、61円（0.4%）上昇しました。当ファンドが保有する、配当利回りが高く、負債比率が低いなどといった優良株のなかでも、情報技術株や資本財・サービス株などが堅調に推移したことが主な要因です。

## 投資環境（2017年12月12日～2018年12月10日）

### 米国株式市場

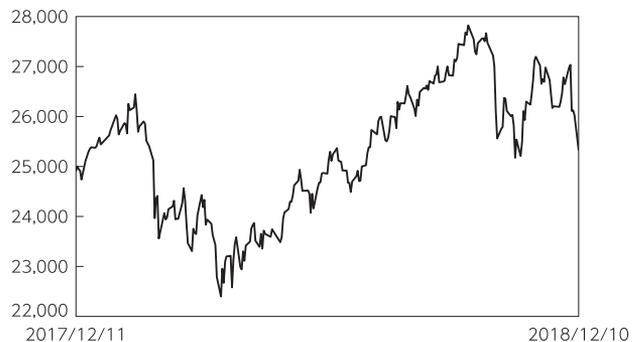
2017年12月12日～2018年6月11日

期初から2018年1月後半にかけては、税制改革法案成立に対する期待感や2017年12月期決算の発表時期を迎え、業績拡大期待などにより、上昇しました。2月に入ると好調な雇用統計の数字を受けた利上げ観測の高まりから、米長期金利が急上昇するとリスク回避の動きが強まり、大きく調整しました。3月以降は、米国と中国の貿易摩擦が激しさを増したことで、株式市場はやや値動きの激しい展開が続きました。5月以降は、トランプ大統領のイランとの核合意離脱表明を受けた原油高や、米中の貿易摩擦に対する懸念が緩和されたことなどが材料視され反発し、一時懸念されたイタリアの政局不安も解消に向かい始めたことなどを受け、上昇基調を維持しました。

2018年6月12日～2018年12月10日

2018年6月中旬以降から10月初めにかけては、米国の保護貿易主義やトルコ情勢に対する懸念から、一時的に調整する場面が見られたものの、企業業績に対する期待感から堅調に推移しました。その後、米長期金利が上昇したことや、貿易摩擦を懸念したIMF（国際通貨基金）が世界経済の成長見通しを引き下げたことなどを受けて、株式市場は急落しました。11月以降は、貿易摩擦激化に対する懸念、米中間選挙の結果、FRB（米連邦準備制度理事会）議長の発言などを材料にほぼレンジ内で推移し、期末を迎えました。

BofAメリルリンチ米国優良高配当株指数（円換算）の推移



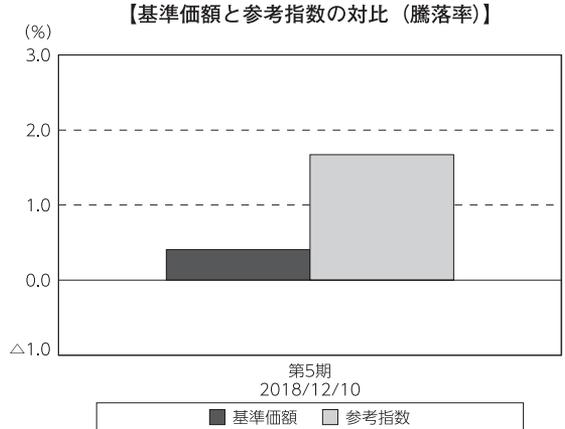
## ■ ポートフォリオについて（2017年12月12日～2018年12月10日）

当ファンドは期初、前期に引き続きキャッシュ・フローの状況や配当利回りの水準等をもとに、米国優良株指数に採用された14銘柄による運用を行いました。その後も設定・解約による資金の流出入に応じ株式の売買を行ったほか、月次の参考指数の見直しに伴い、銘柄入替や組入比率の調整を実施し、期末時点では13銘柄を保有しております。

## ■ ベンチマークとの差異について（2017年12月12日～2018年12月10日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 今後の運用方針

当ファンドにおいては、キャッシュ・フローの状況や配当利回り、収益の成長性等を勘案して選定した銘柄への投資を継続します。また米国優良株指数の月次の構成銘柄の見直しに対応して、銘柄の入替およびバランスを実施する予定です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年12月12日～2018年12月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 21 (21)	% 0.136 (0.136)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	1 ( 1 )	0.004 (0.004)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	48 (47) ( 1 )	0.318 (0.311) (0.008)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合 計	70	0.458	
期中の平均基準価額は、15,173円です。			

※期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

※金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

※比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

## ○ 売買及び取引の状況

(2017年12月12日～2018年12月10日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 278	千米ドル 2,660	百株 326	千米ドル 3,172

※金額は受渡代金。

(2017年12月12日～2018年12月10日)

## ○株式売買比率

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	641,957千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	137,684千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	4.66

※(b)は各月末の組入株式時価総額の平均で、月末に残高のない場合は、それぞれを除いて計算しております。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年12月12日～2018年12月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2018年12月10日現在)

## 外国株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
ALTRIA GROUP INC	—	11	63	7,163	食品・飲料・タバコ	
3M CO	4	—	—	—	資本財	
DARDEN RESTAURANTS INC	—	7	74	8,410	消費者サービス	
NEXTERA ENERGY INC	—	4	80	9,032	公益事業	
GENERAL DYNAMICS CORP	—	4	70	7,891	資本財	
TIFFANY & CO	10	—	—	—	小売	
JOHNSON & JOHNSON	7	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
EMERSON ELECTRIC CO	15	10	67	7,571	資本財	
PROCTER & GAMBLE CO	11	8	77	8,686	家庭用品・パーソナル用品	
ROCKWELL AUTOMATION INC	—	4	69	7,852	資本財	
UNITED TECHNOLOGIES CORP	8	—	—	—	資本財	
WALMART INC	10	—	—	—	食品・生活必需品小売り	
THE JM SMUCKER COMPANY	—	6	66	7,522	食品・飲料・タバコ	
UNION PACIFIC CORP	8	5	74	8,428	運輸	
VF CORP	—	8	66	7,516	耐久消費財・アパレル	
RAYTHEON COMPANY	—	4	68	7,691	資本財	
AUTOMATIC DATA PROCESSING	8	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
PAYCHEX INC	15	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
TEXAS INSTRUMENTS INC	10	7	70	7,972	半導体・半導体製造装置	
C H ROBINSON WORLDWIDE INC	11	8	72	8,120	運輸	
MICROSOFT CORP	12	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
AMGEN INC	5	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
合 計	株 数	金 額	91	923	103,859	
	銘 柄 数 < 比 率 >		14	13	—	< 96.8% >

※邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

※邦貨換算金額の< >内は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率。

※株数・金額は、単位未満を切り捨ててあります。比率は、小数第2位を四捨五入しています。なお、合計は、切り捨て・四捨五入の関係で合わない場合があります。

## ○投資信託財産の構成

(2018年12月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	103,859	92.4
コール・ローン等、その他	8,564	7.6
投資信託財産総額	112,423	100.0

※外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年12月10日における邦貨換算レートは、1米ドル=112.52円です。

※外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、94.9% (106,647千円) です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年12月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	112,423,847
コール・ローン等	8,366,875
株式(評価額)	103,859,807
未取配当金	197,165
(B) 負債	5,090,840
未払金	5,090,839
未払利息	1
(C) 純資産総額(A-B)	107,333,007
元本	71,179,741
次期繰越損益金	36,153,266
(D) 受益権総口数	71,179,741口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,079円

## ○損益の状況 (2017年12月12日～2018年12月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,294,552
受取配当金	3,295,726
支払利息	△ 1,174
(B) 有価証券売買損益	△ 2,160,442
売買益	14,529,943
売買損	△16,690,385
(C) 保管費用等	△ 450,769
(D) 当期損益金(A+B+C)	683,341
(E) 前期繰越損益金	55,046,622
(F) 追加信託差損益金	10,774,640
(G) 解約差損益金	△30,351,337
(H) 計(D+E+F+G)	36,153,266
次期繰越損益金(H)	36,153,266

・追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

・解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## 注記事項

・投資信託の期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額	
期首元本額	109,703,044円
期中追加設定元本額	23,025,360円
期中一部解約元本額	61,548,663円
期末元本の内訳	
米国優良株ファンド(リスクコントロール戦略/為替ヘッジなし)	44,997,606円
米国優良株ファンド(リスクコントロール戦略/為替ヘッジあり)	26,182,135円
合 計	71,179,741円